

STAGE+を楽しむ(103)(HP 収載)
—ドイツ・グラモフォン 125 周年ガラ・コンサート—

1. 始めに

前報(102)に引き続き、STAGE+のドイツ・グラモフォン 125 周年ガラ・コンサートの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ドイツ・グラモフォン 125 周年ガラ・コンサートの演奏を選びました。スターたちが集い音楽で祝う、ドイツ・グラモフォン 125 周年ガラ・コンサート コンツェルトハウス・ベルリン

収録日: 2023 年 12 月 6 日

本映像は、ドイツ・グラモフォン創立 125 周年記念の一環としてベルリンで開催の特別なガラ・コンサートの模様をお届けするものです。ヨアナ・マルヴィッツの指揮の下、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演するのはスター演奏家たち。ボムソリ、キアン・ソルターニ、ラファウ・ブレハッチはベートーヴェンの三重協奏曲を奏で、アンドレ・シュエンはマーラーの《若き日の歌》を歌います。そしてブルース・リウはベートーヴェンの合唱幻想曲で登場。いずれも見逃せない圧巻のステージとなることでしょう。

ソリスト:

アンドレ・シュエン(バリトン)、キアン・ソルターニ (チェロ)、ラファウ・ブレハッチ (ピアノ)、キム・ボムソリ (ヴァイオリン)、ブルース・リウ (ピアノ)

演奏:

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、RIAS 室内合唱団

指揮:

ヨアナ・マルヴィッツ

曲目:

ヨハネス・ブラームス 《大学祝典序曲》 op. 80

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 三重協奏曲ハ長調 op. 56

ラファウ・ブレハッチ(ピアノ)

キム・ボムソリ(ヴァイオリン)

キアン・ソルターニ(チェロ)

グスタフ・マーラー 《さすらう若者の歌》

アンドレ・シュエン(バリトン)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 《静かな海と楽しい航海》 op. 112

RIAS 室内合唱団(合唱)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 合唱幻想曲ハ短調 op. 80

ブルース・リウ(ピアノ)

RIAS 室内合唱団(合唱)



3. 試聴の経過

今回から、スピーカーアキュライザーからのバイワイヤリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。

女性指揮者のヨアナ・マルヴィッツは、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団の指揮者に就任したばかりですが、そのお披露目の演奏会はSTAGE+で配信されたもののNHKの放映の関係で日本では視聴できませんでした。

今回の演奏曲目はすべてお馴染みのもので、曲の始めにグラモフォンの契約アーティストなどから125周年のお祝いのメッセージなどが述べられました。

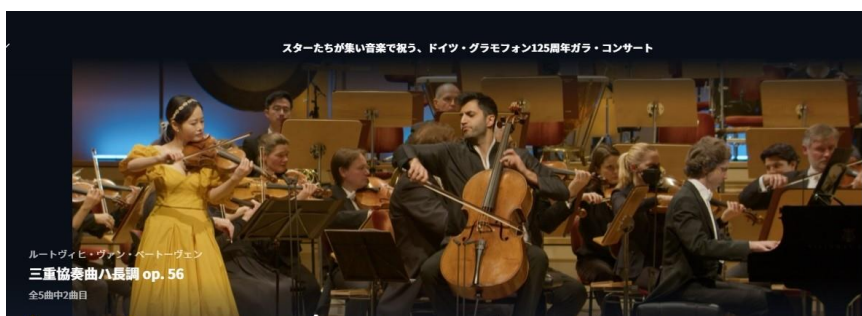
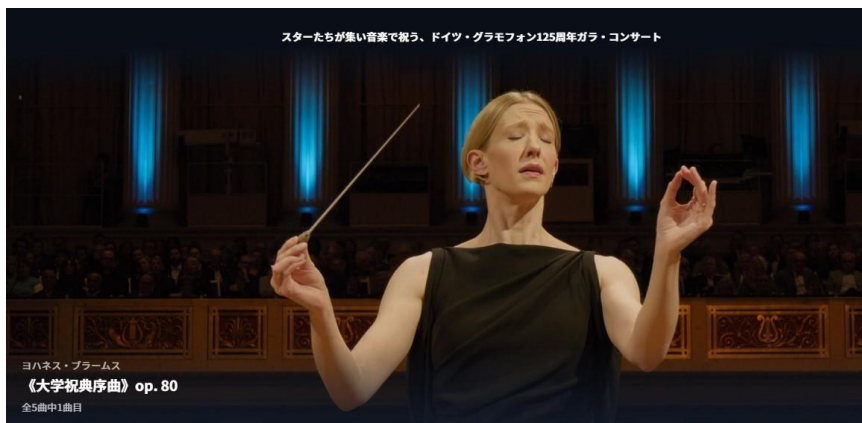
ブラームスの《大学祝典序曲》は、長身のマルヴィッツの、女性指揮者らしからぬダイナミックな指揮で展開していきます。

ベートーヴェンの三重協奏曲は、ソルターニのチェロが伸びやかに歌い、ボムソリのヴァイオリンがこれに応え、ブレハッチのピアノも対話に参加し、ベルリン・コンツェルトハウスがこれらを支えるといったかたちで展開されていきます。この曲は、カラヤン、オイストラッフ、ロストロポーヴィチ、リヒテルの丁々発止の定番がありますが、今回の演奏は、協調性に富んだ若手の熱演です。

マーラーの《さすらう若者の歌》は、バリトンのアンドレ・シュエンの力強い歌唱がホールいっぱいに響きます。

ベートーヴェンの《静かな海と楽しい航海》は、題名のとおり、静かで穏やかな表情から楽しさが満ちるという合唱曲です。

ベートーヴェンの合唱幻想曲は、ブルース・リウの澄んだ切れの良いピアノを中心にオーケストラと合唱の対話が迫力満点で演奏され、終了後に盛んな声援を浴びていました。ケーブルチューナーやルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用したことにより、スケールの大きなこの曲の迫力が伝わってきました。





4. まとめ

LAN アクチュライザーの効果により、ベルリン・コンツェルトハウスでのガラ・コンサートの演奏の雰囲気がよく再現できていました。

以上